

2023年IgG4関連疾患学会 Web 症例検討会

全身のあらゆる臓器にみられるIgG4関連疾患の病変は、他疾患との鑑別に難渋することもしばしば経験します。また、診断・治療の経験の積み重ねとともに治療適応や合併症の管理に苦慮する症例と出会うことも少なくありません。

本検討会では、全国の様々な施設で経験された貴重な症例や診断、治療に検討を要する症例を、エキスパートたちと共に議論したいと思います。

本疾患の診療に興味がおありの先生は、奮ってご参加ください。

日時：8月12日（土）15時～17時

場所：オンライン開催

※本研究会は、Zoomを使用いたします

※接続情報：

<https://kyoto-u-edu.zoom.us/j/84932423642?pwd=RHdXMG1tNnRkRXlUWIEyMmdlazhrdz09>

ミーティング ID: 849 3242 3642 パスコード: 740886

主催 日本IgG4関連疾患学会

連絡先：事務局 金沢大学リウマチ・膠原病内科 076-265-2253

ichi_mizushima@staff.kanazawa-u.ac.jp

座長：吉藤 元 先生、山本 元久 先生

症例 1：自己免疫性膵炎を発症した 12 歳女児

プレゼンター：香芝生喜病院 鶴原 昭史 先生（小児科）

症例 2：IgG4 関連疾患と Castleman 病との鑑別が困難である一例

プレゼンター：長崎大学 道辻 徹 先生（リウマチ・膠原病）

症例 3：血清 IgG4 高値、好酸球増多を伴う多発性リンパ節腫脹の一例

プレゼンター：札幌医科大学 雨池 秀憲 先生（リウマチ・膠原病）

**症例 4：ネフローゼ症候群を発症し、上・下腸間膜動脈周囲の軟部陰影を契機に
IgG4 関連疾患による二次性膜性腎症と診断した一例**

プレゼンター：京都大学 松本 みなみ 先生（腎臓内科）